

下松市の水道事業ガイドライン業務指標(PI)

	番号	業務指標(PI)名	単位	計算式	指標の解説	H20	H21	H22	H23	H24	
安心(全てのお客さまが安心しておいしく飲める水道水の供給)	水資源の保全										
	1001	水源利用率	%	$(\text{一日平均配水量}/\text{確保している水源水量}) \times 100$	水源の効率性、渇水に対する水源のゆとり度を示しています。数値が高いことは水源利用が効率的であるといえる一方で、渇水時の危険度も高まります。	59.5	55.6	59.0	57.6	58.1	
	1002	水源余裕率	%	$[(\text{確保している水源水量}/\text{一日最大配水量}) - 1] \times 100$	水源の効率性、渇水に対しての水源水量のゆとり度を示します。	29.7	35.7	40.2	35.0	32.4	
	1003	原水有効利用率	%	$(\text{年間有効水量}/\text{年間取水量}) \times 100$	水源からの取水量に対し、お客さまに配られるなど有効に使われた水量の割合を示します。	91.8	90.3	88.8	86.5	90.6	
	1004	自己保有水源率	%	$(\text{自己保有水源水量}/\text{全水源水量}) \times 100$	全水源水量に対して、水道局が自己所有している水源水量の割合を示しており、水源運用の自由度をあらわしています。	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
	1005	取水量1m3当たり水源保全投資額	円/m3	水源保全に投資した費用/その流域からの取水量	水源水量に対し、水源涵養に向けた投資額の割合を示します。	0.044	0.112	0.045	0.043	0.055	
	水源から給水栓までの管理										
	1101	原水水質監視度	項目	原水水質監視項目数	原水の水質において監視している項目数を示します。	10	10	10	10	10	
	1102	水質検査箇所密度	箇所/100km2	$(\text{水質検査採水箇所数}/\text{給水区域面積}) \times 100$	給水区域の面積に対する、毎日検査を行う給水栓の箇所数の割合を示します。	25.5	25.5	25.5	25.5	25.5	
	1103	連続自動水質監視度	台/(1,000m3/日)	$(\text{連続自動水質監視装置設置数}/\text{一日平均配水量}) \times 1,000$	お客さまへの給水量に対して、自動的かつ連続的に水質を監視している箇所の割合を示します。	0.13	0.13	0.13	0.13	0.13	
	1104	水質基準不適合率	%	$(\text{水質基準不適合回数}/\text{全検査回数}) \times 100$	給水栓の検査結果においての不適合の割合を示します。この数値は0でなくてはなりません。	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	1105	カビ臭から見たおいしい水達成率	%	$[(1 - \text{ジェオスミン最大濃度}/\text{水質基準値}) + (1 - 2 - \text{メチルイソボルネオール最大濃度}/\text{水質基準値})] / 2 \times 100$	水質基準に対しての2種類のカビ臭物質の最大濃度の割合を示します。水質基準ギリギリは0%、全くカビ臭物質が含まれていなければ100%となります。	55.0	70.0	90.0	70.0	80.0	
	1106	塩素臭から見たおいしい水達成率	%	$[1 - (\text{年間残留塩素最大濃度} - \text{残留塩素水質管理目標値}) / \text{残留塩素水質管理目標値}] \times 100$	おいしさの観点から残留塩素は低いほうが望ましく、この数値が高いほど水道水の塩素臭が少ないことを示します。	0.0	0.0	10.0	10.0	0.0	
	1107	総トリハロメタン濃度水質基準比	%	$(\text{総トリハロメタン最大濃度}/\text{総トリハロメタン濃度水質基準値}) \times 100$	有害物質であるといわれるトリハロメタンの水質基準値に対する最大濃度の割合を示します。	36.0	28.0	30.0	30.0	31.0	
	1108	有機物(TOC)濃度水質基準比	%	$(\text{有機物最大濃度}/\text{有機物水質基準値}) \times 100$	水質基準値に対する有機物の最大濃度の割合を示します。数値が低いほど一般的には良い水だといえます。	20.0	26.7	26.7	30.0	26.7	
1109	農薬濃度水質管理目標比	%	$(\text{測定を実施した農薬毎の最大濃度をそれぞれの水質管理目標値で除した値の合計}) / \text{測定を実施した農薬数} \times 100$	給水栓における管理目標値に対する農薬の濃度を示します。数値は低いほど良い水といえます。	データなし	データなし	データなし	データなし	データなし		
1110	重金属濃度水質基準比	%	$(\text{6項目の重金属毎の最大濃度をそれぞれの水質基準値で除した値の合計}) / 6 \times 100$	給水栓における重金属の水質基準値に対する最大濃度の割合を示します。数値は低いほど良い水といえます。	0.0	10.0	0.0	0.0	0.0		
1111	無機物質濃度水質基準比	%	$(\text{6項目の無機物質毎の最大濃度をそれぞれの水質基準値で除した値の合計}) / 6 \times 100$	給水栓における無機物質の水質基準値に対する最大濃度の割合を示します。ミネラル分の割合をあらわしているといえます。	8.5	7.9	5.7	8.5	10.3		

	1112	有機物質濃度水質基準比	%	(4項目の有機物質毎の最大濃度をそれぞれの水質基準値で除した値の合計)/4×100	給水栓においての有機物質の水質基準値に対する最大濃度の割合を示します。数値は低いほど良い水といえます。	0.0	16.3	0.0	0.0	0.0
	1113	有機塩素化学物質濃度水質基準比	%	(9項目の有機塩素化学物質毎の最大濃度をそれぞれの水質基準値で除した値の合計)/9×100	給水栓においての有機塩素化学物質の水質基準値に対する最大濃度の割合を示します。数値は低いほど良い水といえます。	1.1	データなし	データなし	データなし	データなし
	1114	消毒副生成物濃度水質基準比	%	(5項目の消毒副生成物毎の最大濃度をそれぞれの水質基準値で除した値の合計)/5×100	給水栓においての消毒副生成物の水質基準値に対する最大濃度の割合を示します。数値は低いほど良い水といえます。	9.9	14.3	6.5	6.8	8.1
	1115	直結給水率	%	(直結給水件数/給水件数)×100	給水件数(契約数)に対して、受水槽を経由せず直接給水される件数の割合を示します。水道局では、良質な水を提供するという観点から、直結給水の推進を図っています。	データなし	データなし	データなし	データなし	データなし
	1116	活性炭投入率	%	(年間活性炭投入日数/年間日数)×100	浄水工程で活性炭を注入した日数の割合を示します。活性炭はカビ臭など水源の水質が悪化したときに注入を行うため、この指標は水源の水質の良し悪しの指標でもあります。	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	1117	鉛製給水管率	%	(鉛製給水管使用件数/給水件数)×100	給水件数(契約数)に対し、お客様の給水管において鉛製管を使用されている件数を示します。水質の安全性からこの数値は低くなければなりません。	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
連続した水道水の供給										
安定(いつでもどこでも安定的に生活用水を確保)	2001	給水人口一人当たり貯留飲料水量	L/人	[(配水池総容量-緊急貯水槽容量)×1/2+緊急貯水槽容量]/給水人口×1,000	水道局が災害等の非常時に1人あたり何リットルの水を確保できるかを示します。	207.7	207.1	204.8	204.2	204.4
	2002	給水人口一人当たり配水量	L/日/人	(一日平均配水量/給水人口)×1,000	1人1日あたり何リットルの水を利用しているかを示すとともに、節水型消費パターンの促進度合いを示す指標でもあります。	754.3	702.2	736.4	717.0	724.0
	2003	浄水予備力確保率	%	[(全浄水施設能力-一日最大浄水量)/全浄水施設能力]×100	浄水場の施設の能力における予備力の割合を示しており、水運用の安定性、柔軟性、また機器への対応性を示す指標の一つでもあります。	18.5	24.0	24.8	20.0	18.6
	2004	配水池貯留能力	日	配水池総容量/一日平均配水量	お客様へ配る水道水をためておく配水池の総容量が、1日で使用される水量の何日分あるかを示します。この数値が高ければ、非常時における応急給水能力が高いといえます。	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6
	2005	給水制限数	日	年間給水制限日数	事故や漏水などにともなう減圧給水、時間給水といった制限給水を行った日数を示しており、お客様への給水サービスの安定性を示す指標でもあります。	0	0	0.0	0.0	0.0
	2006	普及率	%	(給水人口/給水区域内人口)×100	給水区域における給水(上水道)サービスを受けているお客様の割合を示します。	98.5	98.5	98.4	98.5	98.6
	2007	配水管延長密度	km/km2	配水管延長/給水区域面積	給水区域面積に対して水道(配水)管がどれだけ布設されているかを示しており、お客様からの給水申込みに対する物理的な利便性の度合いの高さもあらわしています。	9.5	9.4	9.4	9.4	9.4
	2008	水道メータ密度	個/km	水道メータ数/配水管延長	配水管1kmあたりにいくつ水道メーターが設置されているかを示しており、布設された配水管の効率性もあらわしています。	79.3	80.8	81.8	82.7	82.8
	将来への備え									
	2101	経年化浄水施設率	%	(法定耐用年数を超えた浄水施設能力/全浄水施設能力)×100	法定耐用年数を超過した水道施設(浄水施設)の割合を示しており、施設の老朽化の度合いをあらわしています。	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	2102	経年化設備率	%	(経年化年数を超過している電気・機械設備数/電気・機械設備の総数)×100	法定耐用年数を超過した水道施設(電気・機械設備)の割合を示しており、施設の老朽化の度合いをあらわしています。	58.2	66.3	61.0	40.9	62.5
	2103	経年化管路率	%	(法定耐用年数を超えた管路延長/管路総延長)×100	法定耐用年数を超過した水道管の割合を示しており、水道管の老朽化の度合いをあらわしています。	12.8	13.3	17.7	17.6	20.3
	2104	管路の更新率	%	(更新された管路延長/管路総延長)×100	1年間で更新した水道管延長の割合を示しています。	1.3	0.7	0.7	1.7	1.4

2105	管路の更生率	%	$(\text{更生された管路延長}/\text{管路総延長}) \times 100$	水道管の内面補修を1年間で行った割合を示します。	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
2106	バルブの更新率	%	$(\text{更新されたバルブ数}/\text{バルブ設置数}) \times 100$	水道管路の信頼性のために、1年間で更新したバルブ数の割合を示します。	0.5	0.4	0.3	1.0	1.7	
2107	管路の新設率	%	$(\text{新設管路延長}/\text{管路総延長}) \times 100$	1年間で新規に布設された水道管の割合を示します。	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	
リスクの管理										
2201	水源の水質事故数	件	年間水源水質事故件数	水源においての油や廃液など有害物質による水質汚染の回数 を示します。	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
2202	幹線管路の事故割合	件/100km	$(\text{幹線管路の事故件数}/\text{幹線管路延長}) \times 100$	事故時の影響度の大きい水道管において発生した事故の割合 を示しており、管路施設の健全性をあらわしています。	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
2203	事故時配水量率	%	$(\text{事故時配水量}/\text{一日平均配水量}) \times 100$	最大浄水場もしくは最大ポンプ所が24時間全面停止した際に、 お客さまへ給水できる水量の割合を示します。	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
2204	事故時給水人口率	%	$(\text{事故時給水人口}/\text{給水人口}) \times 100$	最大浄水場もしくは最大ポンプ所が24時間全面停止した際に、影 響を受けるお客さまの割合を示します。	100.0	100.0	100.0	100.0	0.0	
2205	給水拠点密度	箇所/100km ²	$(\text{配水池・緊急貯水槽数}/\text{給水区域面積}) \times 100$	災害・事故時において応急給水のできる貯水拠点の割合を示し ています。	25.5	25.5	25.5	25.5	25.5	
2206	系統間の原水融通率	%	$(\text{原水融通能力}/\text{受水側浄水能力}) \times 100$	複数の水源がある場合において、系統の異なる原水の融通度 を示します。	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
2207	浄水施設耐震率	%	$(\text{耐震対策の施されている浄水施設能力}/\text{全浄水施設能力}) \times 100$	浄水施設における耐震能力を示しており、地震災害に対する 浄水施設の安定度をあらわしています。	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
2208	ポンプ所耐震施設率	%	$(\text{耐震対策の施されているポンプ所能力}/\text{全ポンプ所能力}) \times 100$	ポンプ施設における耐震能力を示しており、地震災害に対する ポンプ施設の安定度をあらわしています。	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
2209	配水池耐震施設率	%	$(\text{耐震対策の施されている配水池容量}/\text{配水池総容量}) \times100$	お客さまへ配る水道水をためておく配水池における耐震能力 を示しており、地震災害に対する配水池施設の安定度をあらわ しています。	36.7	45.9	45.9	45.9	55.0	
2210	管路の耐震化率	%	$(\text{耐震管延長}/\text{管路総延長}) \times 100$	水道管における耐震能力を示しており、地震災害に対する水 道管の安定度をあらわしています。	2.7	3.1	3.7	5.4	6.8	
2211	薬品備蓄日数	日	平均薬品貯蔵量/一日平均使用量	浄水場で使用する薬品類の貯蔵率を示しており、浄水場におい ての危機対応能力をあらわしています。	15.0	11.4	7.7	8.5	9.6	
2212	燃料備蓄日数	日	平均燃料貯蔵量/一日使用量	浄水場で使用する燃料類の貯蔵率を示しており、浄水場におい ての危機対応能力を示しています。	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	
2213	給水車保有度	台/1,000人	$(\text{給水車数}/\text{給水人口}) \times 1,000$	常時待機し、緊急時にいつでも出動できる応急給水車両数の割 合を示しており、水道局の危機対応能力をあらわしています。	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
2214	可搬ポリタンク・ポリパック保有度	個/1,000人	$(\text{可搬ポリタンク・ポリパック数}/\text{給水人口}) \times 1,000$	災害・事故時などの緊急時に使用できるポリタンク、ポリパックの保 有数の割合を示しており、水道局の危機対応能力をあらわして います。	5.7	24.6	25.2	28.9	76.6	
2215	車載用の給水タンク保有度	m ³ /1,000人	$(\text{車載用給水タンクの総容量}/\text{給水人口}) \times 1,000$	お客さま人口に対して、災害・事故時などの緊急時に使用できる 車載用給水タンクの容量の割合を示しており、水道局の危機対 応能力をあらわしています。	0.04	0.04	0.0	0.0	0.0	
2216	自家発電設備容量率	%	$(\text{自家発電設備容量}/\text{当該設備の電力総容量}) \times 100$	電力を多く使用する水道施設において、水道局が非常時に備え て保有する自家発電設備容量の割合を示しており、水道局の 危機対応能力をあらわしています。	30.8	31.1	30.5	31.9	34.5	
2217	警報付施設率	%	$(\text{警報付施設数}/\text{全施設数}) \times 100$	水道施設において、異常が発生した際に警報が発せられる施設 の割合を示しており、水道局の危機対応能力をあらわしていま す。	7.7	7.7	7.7	7.7	7.7	

	2218	給水装置の凍結発生率	件/1,000件	$(\text{給水装置の年間凍結件数} / \text{給水件数}) \times 1,000$	寒波によって凍結被害を受けたお客さま所有の水道設備(宅内の配管など)の件数の割合を示しています。	データなし	データなし	データなし	データなし	データなし	
持続(いつでも安心できる水を安定して供給)	地域特性にあった運営基盤の強化										
	3001	営業収支比率	%	$(\text{営業収益} / \text{営業費用}) \times 100$	水道事業会計において営業費用が営業収益によってどの程度まかなわれているかを示します。	129.1	125.3	128.0	126.6	127.8	
	3002	経常収支比率	%	$[(\text{営業収益} + \text{営業外収益}) / (\text{営業費用} + \text{営業外費用})] \times 100$	経常費用が経常収益によってどの程度まかなわれているかを示します。	117.4	119.4	122.3	121.6	122.6	
	3003	総収支比率	%	$(\text{総収益} / \text{総費用}) \times 100$	総費用に対する総収益の割合を示します。	117.3	119.2	122.2	121.5	122.5	
	3004	累積欠損金比率	%	$[\text{累積欠損金} / (\text{営業収益} - \text{受託工事収益})] \times 100$	営業収益に対する累積欠損金の割合を示します。	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	3005	繰入金比率(収益的収支分)	%	$(\text{損益勘定繰入金} / \text{収益的収入}) \times 100$	収益的収入に対する他会計からの繰入金の割合を示します。独立採算を原則とする水道事業の経営状況の健全性、効率性を示す指標の一つでもあります。	6.0	5.1	4.5	3.9	3.1	
	3006	繰入金比率(資本的収入分)	%	$(\text{資本勘定繰入金} / \text{資本的収入}) \times 100$	資本的収入に対する他会計からの繰入金の割合を示します。独立採算を原則とする水道事業の経営状況の健全性、効率性を示す指標の一つでもあります。	8.2	21.4	15.5	9.2	26.6	
	3007	職員一人当たり給水収益	千円/人	$(\text{給水収益} / \text{損益勘定所属職員数}) / 1,000$	職員一人あたりの生産性を示します。	42,904	42,397	44,354	46,445	39,638	
	3008	給水収益に対する職員給与費の割合	%	$(\text{職員給与費} / \text{給水収益}) \times 100$	収益に対する職員の給与費の割合を示します。	23.2	23.4	22.1	21.7	19.7	
	3009	給水収益に対する企業債利息の割合	%	$(\text{企業債利息} / \text{給水収益}) \times 100$	収益に対する借入金の利息の返済割合を示します。	24.0	18.2	16.6	15.2	14.0	
	3010	給水収益に対する減価償却費の割合	%	$(\text{減価償却費} / \text{給水収益}) \times 100$	収益に対する減価償却費の割合を示します。	34.1	35.3	35.2	35.3	36.6	
	3011	給水収益に対する企業債償還金の割合	%	$(\text{企業債償還金} / \text{給水収益}) \times 100$	収益に対する借入金の元金の返済割合を示します。	138.8	57.6	49.8	48.5	38.5	
	3012	給水収益に対する企業債残高の割合	%	$(\text{企業債残高} / \text{給水収益}) \times 100$	収益に対する借入金残高の割合を示します。	513.3	478.3	443.7	434.1	399.7	
	3013	料金回収率(給水にかかる費用のうち水道料金で回収する割合)	%	$(\text{供給単価} / \text{給水原価}) \times 100$	お客さまへの給水に要する費用が、料金収入によってどの程度まかなわれているかを示します。	97.5	100.6	104.0	104.1	106.1	
	3014	供給単価	円/m ³	給水収益/有収水量	料金収入の対象となった水量の1m ³ あたり、どの程度収益を得ているかを示します。	81.4	87.2	83.6	84.9	83.8	
	3015	給水原価	円/m ³	$[\text{経常費用} - (\text{受託工事費} + \text{材料及び不用品売却原価} + \text{附帯事業費})] / \text{有収水量}$	料金収入の対象となった水量の1m ³ あたり、どの程度費用がかかっているかを示します。	83.5	86.6	80.3	81.5	78.9	
	3016	1ヶ月当たり家庭用料金(10m ³)	円	1ヶ月当たりの一般家庭用(口径13mm)の基本料金+10m ³ 使用時の従量料金	水道メーターの口径13mmをご利用されるお客さまにおいて、10m ³ の水を使用されたときの料金を示します。	750	750	750	750	750	
	3017	1ヶ月当たり家庭用料金(20m ³)	円	1ヶ月当たりの一般家庭用(口径13mm)の基本料金+20m ³ 使用時の従量料金	水道メーターの口径13mmをご利用されるお客さまにおいて、20m ³ の水を使用されたときの料金を示します。	1,464	1,464	1,464	1,464	1,464	
	3018	有収率	%	$(\text{有収水量} / \text{給水量}) \times 100$	1年間で水道局が給水した総水量に対して、料金収入の対象となった水量の割合を示しています。	90.7	89.7	88.6	89.3	90.1	
3019	施設利用率	%	$(\text{一日平均給水量} / \text{一日給水能力}) \times 100$	水道施設の給水能力に対してお客さまへの平均給水量の割合を示しており、施設の稼働状況(効率性)をあらわしています。	62.2	58.1	61.6	60.1	60.7		

3020	施設最大稼働率	%	$(\text{一日最大給水量} / \text{一日給水能力}) \times 100$	水道施設の給水能力に対して、年間で最も多くお客さまへ給水した水量の割合を示しており、施設の稼働状況(効率性)をあらわしています。	80.5	77.0	74.5	77.4	78.9
3021	負荷率	%	$(\text{一日平均給水量} / \text{一日最大給水量}) \times 100$	お客さまへの最大給水量に対する、平均給水量の割合を示しており、水需要の変動をあらわしています。	77.2	75.4	82.6	77.7	76.9
3022	流動比率	%	$(\text{流動資産} / \text{流動負債}) \times 100$	1年以内の短期的な債務に対する支払能力を示しており、水道事業の財務の安全性をあらわしています。	1,257.3	1,048.1	554.4	366.3	528.8
3023	自己資本構成比率	%	$[(\text{自己資本金} + \text{剰余金}) / \text{負債} \cdot \text{資本合計}] \times 100$	総資本に対する自己資本の割合を示しており、財務の健全性をあらわしています。	69.4	71.6	73.2	73.8	76.1
3024	固定比率	%	$[\text{固定資産} / (\text{自己資本金} + \text{剰余金})] \times 100$	自己資本がどの程度固定資産に投下されたかを示します。	137.2	133.3	129.6	127.6	124.0
3025	企業債償還元金対減価償却費比率	%	$(\text{企業債償還元金} / \text{当年減価償却費}) \times 100$	投下資本の回収と再投資のバランスを示します。	407.3	163.2	141.7	137.5	105.2
3026	固定資産回転率	回	$(\text{営業収益} - \text{受託工事収益}) / [(\text{期首固定資産} + \text{期末固定資産}) / 2]$	固定資産に対する営業収益の割合を示しており、固定資産が1年間に、営業収益によって何回回収されたかをあらわしています。	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
3027	固定資産使用効率	m3/10,000円	$(\text{給水量} / \text{有形固定資産}) \times 10,000$	有形固定資産に対する1年間で水道局が給水した総水量の割合を示しており、固定資産の効率性をあらわしています。	8.2	7.7	8.2	7.9	8.0

水道文化・技術の継承と発展

3101	職員資格取得度	件/人	職員が取得している法定資格数 / 全職員数	職員一人あたりで保有する法定資格の数を示します。	3.0	3.1	2.9	3.6	4.1
3102	民間資格取得度	件/人	職員が取得している民間資格取得数 / 全職員数	職員一人あたりで保有する民間資格の数を示します。	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2
3103	外部研修時間	時間	$(\text{職員が外部研修を受けた時間} \cdot \text{人数}) / \text{全職員数}$	職員の資質の向上のために行われた、職員一人あたりの外部研修の時間数を示します。	46.9	5.1	6.4	18.0	15.5
3104	内部研修時間	時間	$(\text{職員が内部研修を受けた時間} \cdot \text{人数}) / \text{全職員数}$	職員の資質の向上のために行われた、職員一人あたりの内部研修の時間数を示します。	0.0	0.0	6.7	7.4	15.9
3105	技術職員率	%	$(\text{技術職員総数} / \text{全職員数}) \times 100$	水道局における技術系職員の割合を示します。	53.8	56.0	66.7	57.7	61.5
3106	水道業務経験年数度	年/人	全職員の水道業務経験年数 / 全職員数	職員一人あたりの水道事業に携わってきた経験年数を示しており、職員の習熟度をあらわしています。	28.7	27.9	20.7	21.8	18.4
3107	技術開発職員率	%	$(\text{技術開発業務従事職員数} / \text{全職員数}) \times 100$	技術開発に従事する職員の割合を示しており、水道技術開発に対する人的投資の度合いをあらわしています。	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
3108	技術開発費率	%	$(\text{技術開発費} / \text{給水収益}) \times 100$	収益に対して、水道技術開発に投資した費用の割合を示します。	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
3109	職員一人当たり配水量	m3/人	年間配水量 / 全職員数	1年間で職員一人あたり、お客さまへ何m ³ 給水したのかを示しており、職員一人あたりの効率性をあらわしています。	558,714.7	542,552.2	532,788.4	541,701.5	545,044.7
3110	職員一人当たりメータ数	個/人	水道メータ数 / 全職員数	水道メーターが職員一人あたりでどれだけ市内に設置されているかを示しており、職員一人あたりの効率性をあらわしています。	905.85	950.16	890.96	938.50	942.88
3111	公傷率	%	$[(\text{公傷で休務した延べ人数} \cdot \text{日数}) / (\text{全職員数} \times \text{年間公務日数})] \times 100$	1年間において、業務にともなうケガ、病気によって職員が休務した人数、日数の割合を示しており、水道局の安全衛生面の管理状況をあらわしています。	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
3112	直接飲用率	%	$(\text{直接飲用回答数} / \text{直接飲用アンケート回答数}) \times 100$	アンケート結果による、お客さまについての水道水を直接飲用している方の割合を示しており、水道水への信頼性をあらわしています。	* 0.0	* 0.0	* 0.0	* 0.0	* 0.0

消費者ニーズをふまえた給水サービスの充実											
3201	水道事業に係る情報の提供度	部/件	広報誌配布部数 / 給水件数	給水件数(契約数)に対する、水道にかかわる情報を掲載した広報誌の配布部数の割合を示しており、水道局の広報活動の状況をあらわしています。	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
3202	モニタ割合	人/1,000人	(モニタ人数 / 給水人口) × 1,000	水道事業のモニタとして協力をいただいているお客様の割合を示しており、水道局のお客さまとのコミュニケーションの推進の度合いをあらわしています。	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
3203	アンケート情報収集割合	人/1,000人	(アンケート回答人数 / 給水人口) × 1,000	お客様のニーズ、声に対する水道局の収集度合いを示します。	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
3204	水道施設見学者割合	人/1,000人	(見学者数 / 給水人口) × 1,000	1年間において水道施設を見学に来られたお客様の割合を示しており、水道局のお客さまとのコミュニケーションの推進の度合いをあらわしています。	5.6	6.8	8.8	0.0	0.0	6.4	
3205	水道サービスに対する苦情割合	件/1,000件	(水道サービス苦情件数 / 給水件数) × 1,000	水道局の給水サービスに対して1年間で寄せられた、お客さまからの苦情件数の割合を示します。	*	0.0	*	0.0	*	0.0	*
3206	水質に対する苦情割合	件/1,000件	(水質苦情件数 / 給水件数) × 1,000	水道水の水質に対して1年間で寄せられた、お客さまからの苦情件数の割合を示します。	0.8	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	
3207	水道料金に対する苦情割合	件/1,000件	(水道料金苦情件数 / 給水件数) × 1,000	水道料金に対して1年間で寄せられた、お客さまからの苦情件数の割合を示します。	*	0.0	*	0.0	*	0.0	*
3208	監査請求数	件	年間監査請求件数	水道事業に対して、法令に基く監査の請求をされた件数を示します。	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
3209	情報開示請求数	件	年間情報開示請求件数	水道事業に関して、法令に基づく情報公開を請求された件数を示します。	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
3210	職員一人当たり受付件数	件/人	受付件数 / 全職員数	給水の申込み、検査、料金の精算といったお客さまからの申込みについて、職員一人あたりで受付けた件数を示します。	データなし	データなし	データなし	データなし	データなし	データなし	
地球温暖化防止、環境保全などの推進											
環境 (環境 保全 への 貢献)	4001	配水量1m3当たり電力消費量	kWh/m3	全施設の電力使用量 / 年間配水量	1年間で水道局がお客さまへ給水した総水量に対して、水道施設で使用する電力量の割合を示します。	0.18	0.19	0.18	0.19	0.18	
	4002	配水量1m3当たり消費エネルギー	MJ/m3	全施設での総エネルギー消費量 / 年間配水量	1年間で水道局が給水した総水量に対して、水道施設で消費するエネルギー総量の割合を示します。	0.65	0.70	0.65	0.67	0.66	
	4003	再生可能エネルギー利用率	%	(再生可能エネルギー設備の電力使用量 / 全施設の電力使用量) × 100	水道施設で使用する総電力量に対する、太陽光発電などの再生可能エネルギーの利用量を示します。	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	4004	浄水発生土の有効利用率	%	(有効利用土量 / 浄水発生土量) × 100	浄水過程で発生する発生土を有効利用している割合を示しており、水道局の環境保全への取組状況をあらわしています。	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
	4005	建設副産物のリサイクル率	%	(リサイクルされた建設副産物量 / 建設副産物排出量) × 100	水道工事で発生する土、アスファルト、コンクリートなどの副産物を有効利用している割合を示しており、水道局の環境保全への取組状況をあらわしています。	32.1	0.9	18.5	21.2	9.0	
	4006	配水量1m3当たり二酸化炭素(CO2)排出量	g・CO2/m3	[総二酸化炭素(CO2)排出量 / 年間配水量] × 10 ⁶	1年間で水道局がお客さまへ給水した水量1m ³ あたりに対しての、二酸化炭素の排出量を示しています。	121.8	129.2	108.1	117.2	114.5	
健全な水循環											
	4101	地下水率	%	(地下水揚水量 / 水源利用水量) × 100	水道水の原水として取水する水源水の総量のうち、地下水の利用率を示します。	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
適正な実行・業務運営											
管	5001	給水圧不適正率	%	[適正な範囲になかった圧力測定箇所・日数 / (圧力測定箇所総数 × 年間日数)] × 100	お客さまへの水道水の給水のための給水圧において、適正範囲でコントロールできなかった、箇所・日数の割合を示します。	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

5002	配水池清掃実施率	%	$[\text{最近5年間に清掃した配水池容量} / \text{配水池総容量} / 5] \times 100$	お客さまへ配る水道水をためておく配水池の清掃(管理)状況を示します。	180.6	180.6	0.0	114.4	127.6
5003	年間ポンプ平均稼働率	%	$[\text{ポンプ運転時間の合計} / (\text{ポンプ総台数} \times \text{年間日数} \times 24)] \times 100$	水道施設における主要な設備でもあるポンプの稼働状況を示します。	20.4	19.1	20.4	20.7	18.8
5004	検針誤り割合	件/1,000件	$(\text{誤検針件数} / \text{検針総件数}) \times 1,000$	水道メーターの検針において、誤って検針した件数の割合を示します。	0.3	0.3	0.1	0.2	1.6
5005	料金請求誤り割合	件/1,000件	$(\text{誤料金請求件数} / \text{料金請求総件数}) \times 1,000$	水道料金の請求において請求先、金額など誤って請求を行った件数の割合を示します。	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
5006	料金未納率	%	$(\text{年度末未納料金総額} / \text{総料金収入額}) \times 100$	お客さまから収納すべき水道料金において、未収となっている料金の割合を示します。	9.9	11.2	10.7	14.8	14.9
5007	給水停止割合	件/1,000件	$(\text{給水停止件数} / \text{給水件数}) \times 1,000$	料金の未納によって給水の停止を行った件数の割合を示します。	20.9	19.8	21.0	35.2	20.4
5008	検針委託率	%	$(\text{委託した水道メータ数} / \text{水道メータ数}) \times 100$	市内に設置している水道メーターのうち、外部団体・個人への委託をもって検針を行ったメーター数の割合を示します。	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
5009	浄水場第三者委託率	%	$(\text{第三者委託した浄水場能力} / \text{全浄水場能力}) \times 100$	浄水場の運転・管理について外部団体に委託を行っている割合を示します。	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
適正な維持管理									
5101	浄水場事故割合	10年間の件数/箇所	10年間の浄水場停止事故件数 / 浄水場総数	過去10年間に於いて、事故などによって浄水場の運転が停止された件数の割合を示します。	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
5102	ダクタイル鑄鉄管・鋼管率	%	$[(\text{ダクタイル鑄鉄管延長} + \text{鋼管延長}) / \text{管路総延長}] \times 100$	市内に張り巡らされている水道管のうち、ダクタイル鑄鉄、鋼製の水道管の割合を示します。	46.1	45.6	46.6	47.8	48.6
5103	管路の事故割合	件/100km	$(\text{管路の事故件数} / \text{管路総延長}) \times 100$	市内に張り巡らされている水道管の延長に対して、発生した管路の事故件数の割合を示します。	16.2	10.2	6.8	11.2	12.5
5104	鉄製管路の事故割合	件/100km	$(\text{鉄製管路の事故件数} / \text{鉄製管路総延長}) \times 100$	鉄製管路の延長に対して、鉄製管路上で発生した事故件数の割合を示します。	データなし*	0.0*	0.7*	0.0*	0.7*
5105	非鉄製管路の事故割合	件/100km	$(\text{非鉄製管路の事故件数} / \text{非鉄製管路総延長}) \times 100$	非鉄製管路の延長に対して、非鉄製管路上で発生した事故件数の割合を示します。	データなし*	19.6*	12.6*	22.1*	24.3*
5106	給水管の事故割合	件/1,000件	$(\text{給水管の事故件数} / \text{給水件数}) \times 1,000$	お客さまの所有財産でもある給水管における事故の発生割合を示します。	9.2	7.7	14.5	10.4	11.2
5107	漏水率	%	$(\text{年間漏水量} / \text{年間配水量}) \times 100$	水道局がお客さまに向けて給水した総水量においての、漏水量の割合を示しており、水道の効率性をあらわしています。	* 7.8	* 8.8	* 9.4	* 9.2	* 8.4
5108	給水件数当たり漏水量	m3/年/件	年間漏水量 / 給水件数	給水件数(契約数)1件あたりの漏水量を示しており、水道の効率性をあらわしています。	* 48.1	* 50.3	* 56.1	* 52.8	* 52.9
5109	断水・濁水時間	時間	$(\text{断水・濁水時間} \times \text{断水・濁水区域給水人口}) / \text{給水人口}$	お客さま人口に対して、災害・事故にともなって断水や濁り水によって被害を受けたお客さまの、その時間割合を示します。	* 0.1	* 0.0	* 0.1	* 0.1	* 0.0
5110	設備点検実施率	%	$(\text{電気・計装・機械設備等の点検回数} / \text{電気・計装・機械設備等の法定点検回数}) \times 100$	法で定められている水道施設の点検回数に対して、実際に点検を実施した回数の割合を示しおり、施設管理の適切性を示します。	1,300	1,300	1,300	1,300	1,380
5111	管路点検率	%	$(\text{点検した管路延長} / \text{管路総延長}) \times 100$	市内に張り巡らされている水道管の延長に対して、点検を実施した管路の延長の割合を示しており、水道局の管路の健全性確保に向けた取組み状況をあらわしています。	4.0	3.4	6.8	5.1	15.2
5112	バルブ設置密度	基/km	バルブ設置数 / 管路総延長	市内に張り巡らされている水道管の延長に対して、遮断、水量・水圧の制御を目的に設置されたバルブの数を示しており、配水操作の柔軟性や管路の維持管理の容易性をあらわしています。	15.6	16.0	16.1	16.3	16.4

	5113	消火栓点検率	%	$(\text{点検した消火栓数} / \text{消火栓数}) \times 100$	消防用水の確保のために水道管に沿って設置される消火栓のうち、点検を行った数の割合を示します。	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	5114	消火栓設置密度	基/km	消火栓数 / 配水管延長	消火栓の設置密度を示しており、管路施設の消防能力、救命ライフラインとしての危機対応能力の高さをあらわしています。	1.8	1.9	1.9	1.9	1.9
	5115	貯水槽水道指導率	%	$(\text{貯水槽水道指導件数} / \text{貯水槽水道総数}) \times 100$	ビルや高層住宅の貯水槽水道において、その設置者に対し水道局が清掃、管理についての指導・調査を行った件数の割合を示します。	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
国際 (国際 貢献)	技術の移転									
	6001	国際技術等協力度	人・週	人的技術等協力者数 × 滞在週数	水道技術、事業の経営管理についての国際協力のため、海外に派遣された職員の人数・週数を示します。	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	国際機関、諸国との交流									
	6101	国際交流数	件	年間人的交流件数	水道技術、事業の経営管理についての国際協力のため、職員を派遣した件数を示します。	0	0	0	0	0

(注) *は算出根拠に推定値など不確定な数値を含んでいます。